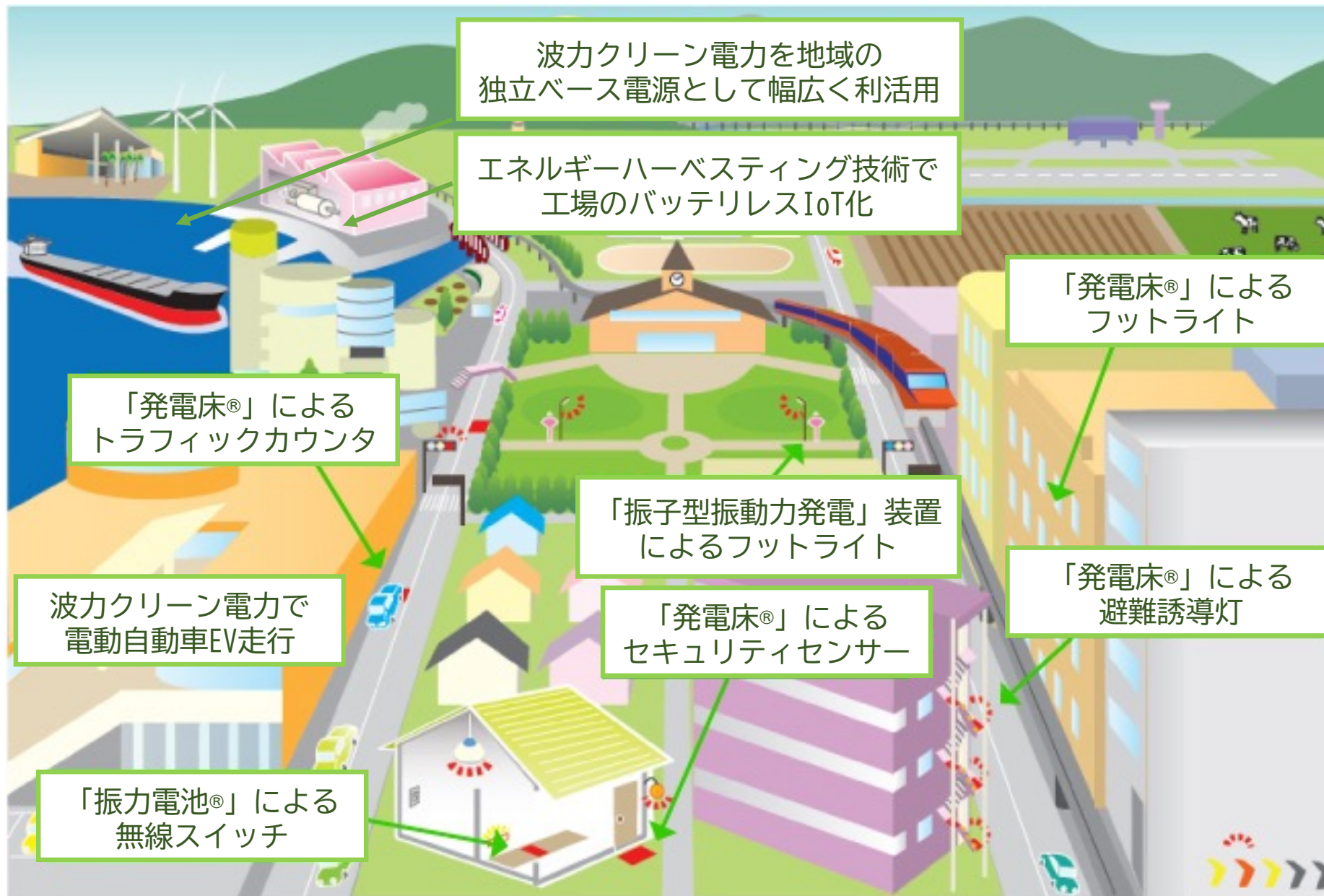




エネルギーハーベスティング技術を活用した街の未来予想図

グローバルエネルギーハーベストの開発する波力発電

エネルギーの 地産地消



安定した独立ベース電源として、その場で発電し供給

ずっとそこにある 自然エネルギー



海に囲まれた日本は、海洋エネルギーの宝庫である

港湾内で安心 自然との共生

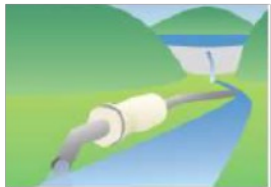


港湾内の防波堤などに設置、漁業への影響は限定的



水力発電

雨や雪の量が発電量に影響、ダム建設により生態系や、自然環境に与える影響は極めて大きい。建設コストが高く、候補地が枯渇。



風力発電

発電量は風況に大きく左右され、候補地は限定的。景観が損なわれ、騒音問題などを抱えている。送電含めた建設コストが高い。



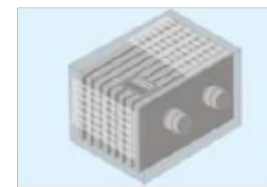
太陽光発電

発電量は天候や日照時間に大きく左右され、蓄電池との組合せが不可欠。設置の際の森林伐採で、逆に自然破壊の問題も起きている。



燃料電池

地産地消が可能な発電方法と言えるが、燃料として水素が必要となる。製造、輸送、貯蔵にコストが非常に高い。



地熱発電

優良な地熱資源の殆どが開発を実施できない国立公園等の特別保護地区にある。調査費用等を含め建設コストが高い。

